愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門演習III		
担当者(Instructors)	上田 裕司	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

学校教育における保健体育科教育，スポーツ及び健康教育（６つの危険行動）に関する研究を遂行する。専門演習Ⅰ・Ⅱで学んだ事項を踏まえ卒業研究を進める。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グループワークを中心に進める（含個人の進捗状況に対応した個別指導）

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	後期の専門演習のオリエンテーション	シラバスを基に目的と内容を再確認する。	□
第2回	研究テーマの確認と相談	決定した自己の研究テーマを明らかにして，研究活動の具体的な計画を立案する。	□
第3回	量的研究対象者：研究テーマに関する質問紙作成の手順と方法 質的研究対象者：FGIの目的	量的研究対象者：保健体育科教育，スポーツ，健康教育（６つの危険行動）などに関する質問紙作成の手順と方法を理解する 質的研究対象者：FGI（構造化及半構造化）の目的を理解する	□
第4回	量的研究対象者：研究テーマに関する質問紙作成の検討 質的研究対象者：FGIの実施方法1	量的研究対象者：保健体育科教育，スポーツ，健康教育（６つの危険行動）などに関する質問紙の内容を検討する 質的研究対象者：FGI（構造化及半構造化）の正確な実施の方法の理解	□
第5回	量的研究対象者：研究テーマに関する質問紙の作成 質的研究対象者：FGIの実施方法から得たデーたの生かし方	量的研究対象者：保健体育科教育，スポーツ，健康教育（６つの危険行動）などに関する質問紙を作成する 質的研究対象者：FGIから得られたデーターを有効に活用する	□
第6回	量的研究対象者：研究テーマに関する質問紙の作成と内容の吟味 質的研究対象者：FGIのから得たデータの分析方法	量的研究対象者：保健体育科教育，スポーツ，健康教育（６つの危険行動）などに関する質問紙の作成と内容を吟味する 質的研究対象者：データ分析の具体的方法について	□
第7回	量的研究対象者：研究テーマに関する質問紙調査の完成 質的研究対象者：FGIの実施Ⅰ	量的研究対象者：保健体育科教育，スポーツ，健康教育（６つの危険行動）などに関する質問紙調査の完成と点検 質的研究対象者：研究テーマに基づいたFGI（構造化及半構造化）の実施	□
第8回	量的研究対象者：研究テーマに関する質問紙調査の実施Ⅰ 質的研究対象者：FGIの完了	量的研究対象者：保健体育科教育，スポーツ，健康教育（６つの危険行動）などに関する質問紙調査の1回目の実施 質的研究対象者：FGI（構造化及半構造化）の完了後，内容を確認する	□
第9回	量的研究対象者：質問紙調査の実施Ⅱ 質的研究対象者：データの整理（テープ起こし）	量的研究対象者：質問紙調査の2回目の実施 質的研究対象者：データを整理して分析に向けてテープ起こしを行う	□
第10回	量的研究対象者：質問紙調査の完了 質的研究対象者：データ分析からのカテゴリ抽出	量的研究対象者：質問紙調査を完了する 質的研究対象者：データを整理して用いる分析方法の手順からカテゴリを抽出する	□
第11回	量的研究対象者：データ整理と分析 質的研究対象者：抽出したカテゴリの整理と検討	量的研究対象者：得られたデータの整理と分析 質的研究対象者：抽出後のカテゴリとテーマとの整合性を確認する	□

第12回	量的研究対象者：データ分析完了 質的研究対象者：卒業研究の進捗及び先行研究の紹介	量的研究対象者：データ分析完了し執筆作業の準備に入る 卒質的研究対象者：卒業業研究の進捗を報告し、卒業研究で核となる先行研究を紹介する。	□
第13回	卒業研究の進捗及び先行研究の紹介	卒業研究の進捗を報告し、卒業研究で核となる論文を紹介する。	□
第14回	中間報告会の準備	卒業研究の中間報告会の準備をする。	□
第15回	卒業研究の中間報告会	卒業研究の進捗状況をレジュメとパワーポイントを使用して、報告する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習：課題に対する資料の収集（2時間程度） 事後学習：各回の演習活動を振り返り，その内容をまとめるとともに研究の進捗状況を記録する（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の演習で課題となった事項をゼミ生全体で共有し，随時課題の解決を図る

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◆ 2018人間健康DP2	学校教育における保健体育科教育，スポーツ及び健康教育（6の危険行動）に関する研究の方法を習得することができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
0%	0%	0%	100%	

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		